

釧路市PTA連合会

KUSHIRO
No. 30
特別記念号

●発行／釧路市PTA連合会●事務局／釧路市城山1-14-35 城山小学校内 ☎(0154)41-1502●編集／市P連広報・情報専門部会●印刷／木内印刷有限会社

祝
30
号

市P連広報第30号発刊を記念して
「共有しあうことの大切さ」

釧路市PTA連合会広報
紙が平成2年に記念すべき
創刊号が発行されました。
以来多くの会員の皆様方に
愛され、親しまれ、本年め
でたく第30号が発刊されま
すことに、心よりお祝い申
し上げます。広報紙に掲載
されます盛りだくさんの内
容、そしてカラフルできれ
いな紙面構成から、編集に
携わっておられる皆様の熱
い思いが伝わってきて、私
も毎回来しみに読ませてい
ただいております。
さて、広報紙26号から29
号までの内容を見てみます

「市P連広報」は市P連活動の伝統を創る
「よい活動が長く続く」と伝統と呼ばれる」

釧路市PTA連合会 会長 住尾 盛

この度釧路市PTA連合
会広報紙が記念すべき第30
号を発行することとなりま
した。「市P連広報」は全
PTA会員そして広く教育
関係の皆様に対し、釧路市
P連活動についてお知らせ
し理解していただく目的で
発刊されております。発刊
以来二十数年、多くの市P
連活動を伝え続けて参りま
した。
しかし特筆すべきことは、
この「広報市P連」が市内
全小・中学校PTA会員自
らの手によって長年作成さ
れ続けてきたことなのです。
もちろん作成に当たる「市
P連・広報情報専門部会」
は私共の一組織ですが、そ
の方々が広報紙を作成し、
市P連の活動をしっかりと
支えてこられました。
過去の広報紙を振り返っ
てみても、全道PTA研究
大会、高等学校紹介、第1
回チャイルドIDAY仕事
体験の特集など、その時々
の活動が鮮やかに切り取ら
れて残っております。し
かもこれらすべてが保護者
の目線で報じられているの
です。
紙が今年も見事に作成され
たことを市P連の誇りとし
て、心から讃えたいと思っ
ます。

釧路市教育委員会 教育長 千葉 誠一

と、二つの共通点がありま
す。一つは、特集として取
り上げている号を含め、全
ての号において「食」につ
いて記事として取り上げ、
その大切さが伝えられてい
ること。二つ目は、全ての
号において、一生懸命に活
動している子どもたちの姿が映
し出されていることであり
ます。読んでいるうちに「一
生懸命輝いている子ども達
のために、保護者として、
大人として、『食べる』と
言った大切なことをやりま
しょうよ、やってみましょ
うよ」といった編集者の皆

事務局だより

事務局長 奥村 勉

▼パソコン利用者が、外部からの不正操作により身に覚えのない理由で逮捕される事件が大きな話題となった。今年度の研究大会はその意味で大変タイムリーだった。釧路市教委との連携で開催した元札幌市立平岡中学校PTA会長さんの「ネット・モラル」に関する講演だ。

今保護者自身がケータイやスマホとしてパソコンなどに真剣に取り組むことが求められている。▼市P連重点項目の一つは「早起き朝ごはん運動」だ。十月、稚内市で北海道PTA連合会が主催する研究大会が開催され、母親委員会昨年度の取り組み「簡単朝食メニュー」の提

言が行われた。提言者は阿部前母親委員長さんだ。参会者からは「大変重要な取り組み」との高い評価を得た。母親委員会は今年度も取り組みを継続している。▼研修専門部会研修会では、釧路地方気象台と連携し「防災研修会」を開催した。これも釧路市民としては大変重

要なテーマだ。▼健全育成専門部会講演会は「魔法の質問」と題して家族のコミュニケーションを取り上げPとTが共に学び合う機会となった。▼広報・情報専門部会 委員長 岩田 恵美

平成24年度 釧路市PTA連合会役員

顧問 青陵中学校 吉田 信二

会長 昭和小学校 住尾 盛

副会長 Aブロック運営委員長 三島 利紀

副会長 Bブロック運営委員長 岡部 博昭

副会長 Cブロック運営委員長 山木 さより

副会長 桜が丘小学校 広報情報専門部

副会長 Dブロック運営委員長 大越 拓也

副会長 鳥取小学校 研修専門部

副会長 Eブロック運営委員長 冷川 圭之

副会長 音別中学校 健全育成専門部

副会長 母親委員会 委員長 川内 雅恵

北中学校 健全育成専門部

副会長 小中学校校長会代表 吉田 和夫

副会長 城山小学校 研修専門部

高P連代表 藤島 由朗

北陽高校 研修専門部

監査 単P会長代表 伊藤 真司

湖陵高校

監査 小中学校校長会代表 藤原 久則

監査 略舞中学校

母親委員会代表 赤塚 由加里

略舞中学校

研修専門部会 委員長 越野 めぐみ

健全専門部会 委員長 秋山 善子

広報・情報専門部会 委員長 岩田 恵美

事務局長 奥村 勉

出を振り返って!! 市P連創刊30号記念

〔2・5ページは特別企画〕
ページとなります。

もつまていつて

H 12年 12月 No. 18



鉚路の歴史

- 1991年 皇太子殿下が初来鉚し、市内及び阿寒町タンチョウ観察センターを訪問
- 1992年 鉚路市生涯学習センターがオープン
- 1993年 鉚路沖地震(震度6M7.8)が発生し、鉚路市で死者1人、負傷者439人
- 同年 第5回ラムサール条約締結会議が開催され、95カ国・151団体1217名が参加
- 1994年 鉚路市で5種類のごみの分別収集スタート
- 1996年 鉚路空港の旅客ターミナルがオープン
- 同年 国際ツルセンターの完成を記念し、皇太子殿下御歌碑を建立
- 1998年 長野オリンピックで星園高卒の岡崎朋美が銅メダルを獲得
- 同年 北海道立鉚路芸術館がオープン
- 1999年 道内初の不登校中学生を対象とした「夜間教室」が市の「ふれあい教室」でスタート
- 2001年 阿寒小学校新校舎落成・開校100周年記念式典が挙

- 2003年 十勝沖地震鉚路市・音別町震度5強、鉚路空港ビル天井崩落、家具損壊、道路陥没、下水道破損等の被害
- 同年 音別小学校開校100周年記念式典祝賀会開催
- 2005年 鉚路こども遊学館がオープン
- 同年 鉚路市・阿寒町・音別町の1市2町が合併し、新生「鉚路市」が誕生
- 2008年 石川啄木来鉚100周年
- 同年 湿原の風アリーナ鉚路が落成
- 2009年 鉚路川にラッコの「クーちゃん」出現
- 同年 裁判員制度がスタート
- 同年 障害を持ったアムールトラの「タイガ」急死
- 同年 鉚路市拠点のドクターヘリが運行開始
- 2011年 東日本大震災、鉚根にも被害
- 同年 小学校4年生の道徳の教材に「タイガとココア」
- 同年 阿寒湖アイヌシアター「イコロ」が完成
- 2012年 タンチョウ・マリモ特別天然記念物指定60周年
- 同年 鉚路市動物園にキリンを贈るための「キリンを贈ろう」の募金開始



H 3年 2月 No. 2



H 3年 3月 No. 3



H 3年 3月 No. 3



H 7年 9月 No. 10



H 7年 9月 No. 10

おいしい給食のあゆみ

- 一九四七年 小学校でミルク給食開始
- 五一年 パンによる完全給食実施
- 六五年 生牛乳が週二回となり、給食費は一食三〇円
- 六六年 生牛乳が週四回となり、中学校でもミルク給食開始
- 六九年 各小学校に給食徴収員派遣、給食費徴収事務開始
- 八〇年 小学校週二回・米飯給食開始、箸利用
- 八一年 鉚路市中学校給食協同調理場(現中学校給食センター)が完成、中学校の完全給食開始
- 八四年 一食、小学校一七七円、中学校二一六円
- 八五年 中学校給食で地元産イワシの蒲焼初採用
- 八八年 鉚路市小学校給食センターが完成
- 九〇年 地元の産物による「ふるさと給食週間」がスタート
- 二〇一一年 中学校給食センターの給食業務、配膳業務を民間に委託、米飯給食を週三回実施、学校給食費の全面口座振替を実施



H 11年 12月 No. 17



H 10年 12月 No. 16



H 10年 3月 No. 15



H 9年 3月 No. 13



H 9年 3月 No. 13

第55回 釧路市PTA連合会研究大会

平成24年10月27日(土) 釧路市立城山小学校

大会スローガン

北の大地ではぐくもう 生きる力と夢・未来

研究主題

21世紀を担う子どもたちを育てるPTA活動 「スマホ時代の情報モラル」～家庭での教育・学校での教育～



高本 茂氏

- ・富士通システムズ・イースト勤務
- ・インターネットサービスプロバイダ事業立上げ
- ・インターネットデータセンター事業セキユリティ
- ・社内での新事業を3つ企画、立上げ、全国拡販（PTA関連）
- ・小学校8年・会長通信、メール配信導入
- ・中学校3年・情報モラル研修会、情報モラル通信

子供達に話したこと

・ネットの利用と人との関わりについて

今の子どもたちは、友達と呼ぶ子は意外とうすいんです。我々の時の親友というのはと今の子どもたちの親友は別物です。何処かというところ、例えば札幌市で問題となっていた中学生の現状として、1年男子が自分の下半身を撮影して、同級生にメール送信、性に目覚めるころです。ね。人を見たいのではありません。

「プロフィール」

中学生が登録する項目に

日常的に情報機器に触れる機会が多くなりましたが、単なる情報教育だけではなく、情報モラル教育と両輪で対応する必要があります。子供達が情報に触れるのが日常になっていく反面、意外とモラル教育は取り組まれていません。

学校教育と家庭教育

学校全体としてトラブルの未然防止に努め、アンケート等の実態調査を継続的に取組むことが重要です。子供達にグループ学習をさせるのではなく、道徳や総合の授業の時間で教材を使用したと

「ルール作りの心構え」

- ・(1)自信を持つこと
- ・子どもを縛るために作る

LINE
FaceBook
ツイッターとは

・LINEとは
スマートフォンで無料で音声通話ができたり、違うキャリア同士でも無料でメッセージを送る事ができるソフトです。

・Face Bookとは
世界最大のソーシャルネットワークキングサービス（以下、SNS）。SNSの中でも実名で現実の知り合いとネット上でつながり交流をするサービスです。

ツイッターとは

1行程度の簡単な文章でweb上に書き込み気軽に情報を共有するサービスです。

インターネットのお約束

「インターネットのお約束」という本ですが、富士通エコーンという会社より出版されています。

子供がSNSをしたいと言ったら、どうするか？とか子供が携帯を持ちたいと言ったらどうするか？という事が書いてあります。

危険性を感じる本は、沢山ありますが、こうしたと言われたら、どう対処したら良いのかという事を持たせる前提で書いてる初級者向けの本なので、是非お母さん方に読んで頂きたいです。



スマホ時代の情報モラル

スマートフォンは、色々な事に使えて便利です。

ドコモ・au・ソフトバンク・Eモバイル・ウィルコム等はキャリアと言われる業者の事です。キャリアと言うのは、いわゆる回線を持っているところで、端末を窓口で販売してるところです。アイフォン・ギャラクシー・アローズ（エクスペリア）と書いてあるのは、端末の名前です。

「スマホは、何が出来るのか？」持っていないとわからないと思いますが、簡単に言うと携帯+デジカメ+パソコン+テレビ+カード財布と書いていますが、要するに結構いろんなことが出来ると思います。カードだとかは、会員登録とかメン

統計からわかること

・保護者の学習経験による差

大事なことは、知らないキーワードがあれば、知ったかぶりをしないでちゃんと調べる事です。そして正しい理解をしてほしいと思います。こういう言葉はいっぱいこれから出てきます。知らないまま放置していると子どもたちが何を話しているのか全然わからなくなります。

・親子の認識のズレ

親が約束事をして持たせたつもりなのに、子は約束

監査担当

- ・社内での新事業を3つ企画、立上げ、全国拡販（PTA関連）
- ・小学校8年・会長通信、メール配信導入
- ・中学校3年・情報モラル研修会、情報モラル通信

事が無いと思っていることが問題で、受け取るまでは「絶対守る。」と必死ですが、一度受け取るともう、こっちのものと、約束は無いとなってしまう。

・統計資料を見ることの過信と油断

携帯電話を持っている中学生は全国60%で、釧路は48%と少ないですが、今後減ることはなく、もっと増えます。また、自分専用のパソコンやゲーム機など、インターネットにつながるものを持っている子は15%もいて、一番多いのはネットゲームです。

統計資料を見て「うちの子、範囲に入ってるから大丈夫。」とか、「うちの学校は安全な方だ。」と過信せず全体的な傾向と違ってとらえる必要があります。



研修専門部研修会

～家庭でもできる地震・津波への対応～

平成24年9月5日(水) 〈会場〉釧路市立城山小学校



研修専門部

委員長 越野めぐみ

9月5日(水)釧路市立城山小学校体育館を会場に、平成24年度研修委員会研修会を開催しました。

今年度の研修会は、例年候補に上がりつつ、実現出来ずにいた『防災』について、釧路地方気象台との共催という形で開催することが出来ました。研修会には100名ほどの参加があり、気象台職員の皆さんの進行のもと、8グループに分かれゲーム形式で行われました。

持ち出し袋の中身を考え、見落としがちな物品の再確認をする内容のものや、速報や警報用語を使った伝言ゲームなど、遊び感覚のユニークな投げかけに、実

非常持ち出し品記憶のクイズ

あなたは5分でどれだけの非常持ち出し品を覚えてられますか？

い服	みず
ひっきようぐ	ひじょう食
トイレットペーパー	マッチ・ろうそく
ウェットティッシュ	ライター
お金	ぐん手
レジャーシート	けいたいラジオ
はさみ	タオル
ガムテープ	ポリぶくろ
マジックペン	しんぶん新聞
ヘルメット	きゆうきゆうセット

※ひなんリユックはお持ちですか？
家族でチェックしてみましょう。

は防災に対する意識や日常の備えのヒントが隠れている、とても有意義な内容でした。

今回の開催を機に、さっそく防災研修会に取り組んだ学校もあると聞いています。次年度以降もPTA会員が興味ある内容の研修会を開催し、親の学習経験を高める機会を提供する場でありたいと思います。



忘れることのできない、伝えておきたい避難所でのエピソード

全身打撲やショックが残っており、私が体育館で横になっていた時のことです。隣には視覚障害のご夫婦と小学生の姉弟が身を寄せていました。ある日、姉弟の目の前で父親がバツタリと倒れ、そのまま運ばれて行ってしまいました。まだ幼い子どもたちの姿と父親の容態を慮っていた翌日、父親の兄弟だという男性と子どもたちが戻ってきました。父親は亡くなられたとのことでした。荷物をまとめて避難所を立ち去ろうとしたその時、姉弟は手にしていた牛乳パックを「残っている人に置いていってあげよう」「早く飲むようにと書いておこう」などと相談をはじめたのです。大震災に見舞われ、衝撃的に父親を亡くし、悲しみがはち切れんばかりであるはずなのに、なんて思いやりのある姉弟だろうかと私はいたく感動していました。しばらくして、学校の先生らしき女性が姿をあらわすと、これまで気丈に振る舞っていた子どもたちがその女性の胸に顔を埋めてワッと泣き出したのです。私はさっきまでの感動に大きな悲しみが重なって、言葉にはできない思いにかられました。この光景は、決して忘れることができず、いまでもこの姉弟の将来に幸あれと祈り続けています。

釧路市PTA広報研修会

平成24年7月4日(水)

PTA広報紙の写真って、どうしたらいいの？



今年度広報情報専門部会では、講師に釧路新聞社の記者黒田文夫さんをお招きし、「効果的な広報紙写真をとるのに工夫するか」をテーマに講演していただきました。

写真を写す時のポイントは？
えっ、写真ってそうなんだ。奥の深い写真の写し方を分かったり、すぐアドバイスして下さいました。

市内各小学校PTA会員90名ほどが参加し好評の中終えることができました。



健全育成講演会

子どものやる気を引き出す魔法の質問

平成24年10月10日(水)



講師▼原しげ子さん
(魔法の質問認定講師)
場所▼釧路市生涯学習センター
まなぼとと幣舞8階



のでした。

次に最近うまくいっている事を3つずつ発表し、他のメンバーはそれを必ず「いいね！」と拍手しながら受け答え、発表者の気持ちを和らげる。

次は自分が言われてうれしいことをいくつか書き、それを他のメンバーに言ってもらうことで自信を持つことができる。

最後に「なぜ？」ではなくて「どうして？」を聞きだそうという話をされました。

「なぜ勉強しないの？」と聞く、子どもの口からは「言い訳」しか生まれず、それでは問題は解決しないというものでした。「なぜ勉強しないの？」ではなくて「どうしたら勉強できるの？」と質問することで子どもと一緒にその理由を考え、解決に向かうことができました。



次の質問が「隣の方との共通点を見つけて下さい」で、まずグループ内で親近感を持ってもらうためのもの



特別企画 広報紙、みんなの想い 『おめでとう』 広報

いよいよ!! 座談会

去る10月31日、釧路市立城山小学校内、釧路市PTA連合会事務局にて「これまで言っていたよ!!」

座談会」を企画致しました。出席者は、永年広報市PTA連の印刷を担当の木内

印刷・木内慎太郎さん、市PTA連前広報委員長・堤佳子さん、市PTA連広報委員長・岩田恵美の3名で

行われました。※尚、紙面の都合上、座談会の内容は一部編集しております。

略称
木内→木
堤→堤
岩田→岩

だまされた!!

木 今日、打ち合わせ

岩 「ホホホ!!」「ハハハ!!」だましちやっ

木 「えーっ!!」

岩 「してやったり!!」

木 「得意顔をしていた委員

長」

木 「やっぱり!!」

岩 座談会って言

ったら、決まり文

句でつまらないし

率直な意見が聞け

ないでしょう!!

木 「そういう話は却

下!! (爆笑)

木 「確かにそう

だね!! かつこつ

てしまふしね!!

岩 (罪の意識が

まるつきりなし。)

楽しく語り合いま

しょう。時間の許



初めての広報紙

最初の頃の思い

木 一番最初の広報紙は

今はないのでが作成し

た元広報委員の新聞記者

の方と話しをする事がで

き、当時の事を聞きました。

岩 最初の頃は、市PTA連

事務局は持ち回りで、担

当の学校の教頭先生が事

務局長として活動し、広

報紙にも携わっていまし

た。

岩 「それでは、各学校に

PTAの広報委員の方が

沢山いらつしやるのだから、

その方々が集って広

報市PTA連の委員会を作っ

て、活動していったらど

うですか」と、新聞記者

の方の提案もあり、現在

の体制が出来上がったよ

うです。当時、なかなか

機能しなかったようです

が、城山小学校に事務局

を置くようになってから、

ようやくお母さん方が活

動するようになりました。

堤 岩 そうだったんだ!

堤 事務局が持ち回りとい

うのは知っていたけれど

そういういきさつがあっ

たんですね!

木 それと、残念ながら、

創刊号と4号、9号の広

報紙がないのは、まだ事

務局体制がきちんと確立

していなかったのかもしれ

ませんね。

岩 そういう事もあった

んですね。今は逆にそう

大変だった

新聞づくり?

岩 二人に質問します。

岩 今まで広報紙を作成して

困った事や大変だった事

はありますか?

堤 うーん。(考え中) 困

った事や大変だった事は

ないよ!! 逆に楽しかった。

色々な方達と話をした

り、本当に自分のために

なり、プラスになったよ!

木 広報紙がカラーにな

った頃から委員さん方の

要望が多くなりました。

家庭でのパソコンの普及

でお母さん方も使える様

になったからだと思います

が、すごく勉強家です

よ! 今も昔も、委員さん

方の広報紙に対する思い

は、頭が下がります。

岩 ここ最近の私は、委

員さんにほとんど作成を

おまかせしてしまってい

ます。作成から私が手

を加える事がなくなっ

てしまつてとてもさみしい

ですね。委員さん方の大

熱に負けてあわててず

こけて立ち上がるのに時

間がかかっている状態

です。

木 (大爆笑。)

堤 最後に広報紙が発刊

でき、委員さんが活動

来るのは、影で事務局

さんが頑張ってくれて

いるおかげなんです。縁

の下力持ちです。

岩 本当にありがとうございます。

木 本場にありがとうございます。

岩 本場にありがとうございます。

木 本場にありがとうございます。

岩 本場にありがとうございます。

木 本場にありがとうございます。

岩 本場にありがとうございます。

木 本場にありがとうございます。

岩 本場にありがとうございます。

木 本場にありがとうございます。

岩 本場にありがとうございます。

木 本場にありがとうございます。

岩 本場にありがとうございます。

木 本場にありがとうございます。

岩 本場にありがとうございます。

木 本場にありがとうございます。

岩 本場にありがとうございます。

木 本場にありがとうございます。

第30号記念

「1100メイト」

子供達の笑顔は私達の元気の源です。笑

顔を一層輝かせる為に頑張ります。

◎ 1年間、事業の推進に頑張ります。皆さ

さん、宜しくお願いします。【大越副会長】

◎ 『主役は子どもたち!』3年間大変お世

話になり有難うございました。【伊藤監査】

◎ 非行防止の基礎・基本、一家団らん楽し

い会話を目指しましょう。【藤原監査】

◎ 母親委員会は、母も学びながら、子ども

たちの成長を見守りサポートをしてい

ます。【赤塚監査】

◎ 親の『学習体験』の機会と単P交流に力

を入れていきます! よろしくお願ひします。

◎ 今年で終わります30号にたす

われてよかったです。【美原中 柏原】

◎ 2年間続けてたずさわる事が出来て、と

ても勉強になりました。【共栄中 西出】

◎ 初めての広報紙の作成に携わり、何もわ

からず不安でしたが、ベテランの方々に

教えて頂きながらいろいろな事を学べ

てとても良かったです。【美原小 干場】

◎ 初めての広報に携わって勉強になり

ました。【鳥取中 飯田】

◎ とても楽しく30号が作れる事が出来

ました。【鳥取中 飯田】

◎ 色々な意見を聞く機会があり勉強さ

せて頂きました。【鳥取中 飯田】

◎ 記念すべき30号の広報紙に携わる事が

出来て良かったです。【大桑毛中 長谷】

◎ 市PTA連広報紙の作成は二度目ですが、記

念号に携わる事ができ、良い経験をさ

せて頂きました。【大桑毛小 菅野】

◎ とても楽しく、勉強になり、いい経験

をさせていただきました。【鳥取中 長濱】

◎ 広報の参加は初めてで色々勉強にな

りました。【鳥取中 飯田】

◎ とても楽しく30号が作れる事が出来

ました。【鳥取中 飯田】

◎ ベテランの方々に教えていただきとても

勉強になりました。【城山小 堀川】

◎ 他校の方々と色々なお話ができ、貴重

な時間を過ごす事ができました。【桜が丘中 原井】

◎ 今回初めて参加させて頂きましたが、と

ても勉強になりました。【山花小中 家山】

◎ 初めて参加させて頂き、他校の皆さ

さんとの情報交換がとても参考になり

ました。【昭和小 鈴木】

◎ 色々勉強させて頂きました。みなさん

おつかれ様でした。【鶴野小 山田】



チャイルド1DAY 商店一日体験

釧路子どもインターシッブ事業



チャイルド1DAY仕事一日体験事業は、小中学生に働くことの大切さ、喜び等の体験とともに、地元商店街の理解を深めてもらうこと等を目的として、平成14年から行っている“子ども体験事業”で、今年で11回目の開催です。

PTA広報紙コンクール入賞校

《最優秀賞》

美原中学校

- ・開校30周年を表紙のテーマにした
- ・校歌と校章の解説は開校当時の思いを再認識することで今後の学校経営期待をこめた内容です。
- ・広報紙の題字の歴史を振り返るコーナーも見応えがあります。
- ・生徒の心身の健康維持のため給食試食会の話題を大きく取り上げたことは保護者に対し給食に関心をもたせることにつながります。
- ・東日本大震災への支援活動をはじめPTAの活動も掲載されていて限られたスペースを十分に生かして広報の役割を果たしています。

《優秀賞》

愛国小学校

- ・修学旅行や宿泊研修など校外研修の疑問について校長先生が答えるコーナーはとても分かりやすく、広報の役割を見事に果たしています。保護者の時代の校外活動と現在とでは違いがありますので、それをいねいに説明しています。
- ・修学旅行先で児童に聞いた「突撃インタビュー」「感想文」も児童が何に興味・関心をもったか分かります。
- ・PTA研修委員会の「星空観察会」開催の記事もレイアウトが分かりやすく、感想もしっかり掲載されていました。

- ・表紙は、児童と先生の表情が生き生きしていて、元気で楽しい学校であることを伝えてくれます。
- ・新任の先生たちには、色紙に座右の銘を書いてもらうという斬新なアイデアが光りました。字体にもそれぞれ特徴があり先生の個性が垣間見えます。
- ・運動会や遠足のダイジェストは狭いスペースを上手に使い躍動する児童を描いています。

《佳作》

愛国小学校

- ・表紙は、児童と先生の表情が生き生きしていて、元気で楽しい学校であることを伝えてくれます。
- ・新任の先生たちには、色紙に座右の銘を書いてもらうという斬新なアイデアが光りました。字体にもそれぞれ特徴があり先生の個性が垣間見えます。
- ・運動会や遠足のダイジェストは狭いスペースを上手に使い躍動する児童を描いています。

編集後記

今回、第30号の特集で6面となりさまざまな企画に取り組みました。

委員さん方の汗と涙と努力の結晶の広報紙が出来上がりました。

これからも委員さん方に支えられながら楽しく頑張っていけたらと思っています。

取材に協力してくれた皆様方に感謝致します。

(I)

準備、家族の連絡方法などについて、啓発をしています。

・とても重要な課題について、真正面から取り組んだ姿勢を高く評価します。

・PTAの活動についても「学校支援ボランティア」や懇親会の様子をはじめ、硬軟織り交ぜて上手にまとめています。

《佳作》

鳥取西中学校

・年1回の発行にして、その分、質・量とも充実しています。

・前半は全生徒の写真を掲載していますが一人一人の表情がとてもよく、気持ちが見えている側に伝わります。これにちよっとでもコメントが加わると、より素晴らしいものになったでしょう。

・後半の「早寝・早起き・朝ごはん」に関するアンケート調査はグラフを活用して見やすく、分かりやすく、主体となった総務委員会のコメントもあり、とてもよかったです。